

平成27年度都道府県肝疾患診療拠点病院  
看護師向け研修会  
2015年12月4日

# 肝臓病教室立ち上げまでの過程と 看護師の役割

公立大学法人大阪市立大学医学部附属病院

10階東病棟看護師 松崎 里美



公立大学法人大阪市立大学  
大阪市立大学医学部附属病院  
Osaka City University Hospital

# 大阪市立大学医学部附属病院

- 特定機能病院病床数 959床(2015年9月現在)
- 入院基本料 一般病棟 ( 7:1 以上 ) 20棟
- 機能評価 Vo.6.0(2012年5月認定)
- 大阪府指定 地域がん診療連携拠点病院
- 肝疾患診療連携拠点病院(2008年7月～)
- 患者総合支援センター(肝疾患含む)
  - 医療ソーシャルワーカー5名
  - 看護師2名
  - 精神保健福祉士2名
  - 事務員2名



# 10階東病棟の紹介

- 病床数 48床  
(肝胆膵内科 36床、消化器内科 12床)
- 看護師 23名 (師長含む)
- 看護補助 2名
- 病棟クラーク 2名



和気あいあいとした  
仲の良い病棟です！

病床利用率 88.7%  
在院日数 11.1日

2015年10月平均

# 本日の内容

- 肝臓病教室立ち上げまでの過程
- 肝臓病教室の運営
- 新たな取り組み
  - 肝炎デー開催の経緯と実際
- 看護師の役割
- 今後の課題

# 肝臓病教室の目的

- 肝疾患患者に、集団の場で患者教育を行う
- 患者の疑問や不安を解決する
- 患者の疾患に対する理解を深め、自己管理能力を高める
- 患者、医療者間のコミュニケーションの場となる
- 医療者が、疾患を持ちながら生活する患者の思いを理解する

肝疾患患者のQOLを高める

患者との信頼関係を築く

# 肝臓病教室立ち上げまでの過程

## 過去の肝臓病教室

1983年～1992年ごろまで開催

### 当初の教室内容

当番制：医師1名、管理栄養士1名

- ・ 肝臓病全般について講義
- ・ 食事指導

実施回数：1回／月～1回／6ヶ月

### 肝臓病教室が終了した理由

- ・ 講師は変わっても内容は同じようなものであった
- ・ 出席する患者がいなくなった
- ・ 主催者側のモチベーションの低下

# 特色ある肝臓病教室を目指して

2008年7月、当院が「肝疾患診療連携拠点病院」に指定され、患者サービスの向上に向けて肝臓病教室の開催が必要

1. 患者が参加したい肝臓病教室とは？
2. 医療者側の達成感を得るためには？
3. どのような方法で始めるのか？
  - ・参加職種
  - ・人員確保
  - ・開催日時、開催頻度、参加人数設定



他施設の肝臓病教室の見学、情報収集

# 他施設「肝臓病教室」の見学

- 平成20年12月、コメディカルへの呼びかけ
- 平成21年1月に見学実施
- 見学者  
**医師、看護師、薬剤師、栄養士** 各1名
- 見学内容  
教室の内容、開催時間、場所、参加人数、看護師の役割、参加スタッフ、スタッフの勤務形態

# 開始に向けた具体的な活動

- 2009年  
1月末 他部門の責任者および各診療科の了解を得る  
年間計画の立案  
他部門との連絡・調整  
役割分担の決定  
会場の確保と準備、打ち合わせのレジメ作成
- 2月10日 第1回打ち合わせ ポスターの掲示  
担当者の役割を決定  
資料作成、議事録作成、アンケート作成  
患者への呼びかけ  
診察時に医師がパンフレットを渡す
- 3月13日 第1回リハーサルの実施
- 3月27日 第1回肝臓病教室開催

各部門への  
根まわしが  
重要

# 第1回 肝臓病教室

テーマ：C型慢性肝炎

平成21年3月27日（金） 午後5時～6時

インターフェロン(IFN)治療の最前線(医師)

インターフェロンとうまく付き合っていこう(看護師)

インターフェロンの種類と注意点

—副作用への対応について— (薬剤師)

食欲不振時の対応(管理栄養士)

# 本日の内容

- 肝臓病教室立ち上げまでの過程
- **肝臓病教室の運営**
- 新たな取り組み
  - 肝炎デー開催の経緯と実際
- 看護師の役割
- 今後の課題

# 肝臓病教室の運営

3, 6, 9, 12月の第3もしくは第4金曜日  
(年4回)

15時～16時30分

対象：当科通院もしくは入院患者

- 参加費：無料
- 事前申し込み：要
- 定員：なし
- 質問：事前に受け付ける

スタッフ：医師、看護師、栄養士、  
薬剤師、理学療法士、  
患者支援課（事務員）  
MSW、学生、音楽療法士

# 肝臓病教室年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
打ち合わせ	●			●			●			●		
リハーサル		●			●			●			●	
教室開催			●			●			●			●
反省会				●			●			●		●

# 進化する肝臓病教室

## P D C A スパイラルアップ

**A (改善)**  
反省会  
次回への課題  
まとめ

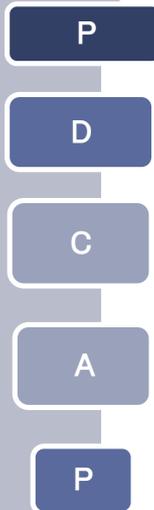
**P (計画)**  
打ち合わせ  
リハーサル



**C (検証)**  
アンケート  
評価



**D (実行)**  
肝臓病教室



# P (プラン)



- テーマ（疾患）にこだわらず、**どの肝臓病患者でも学べる内容**を1つ以上入れる
- できるだけ受け身でない**患者参加型講義**で楽しめる内容にする
- 講義だけでなく**リフレッシュ**できて楽しめるものを取り入れる
- リハーサルを行い、前後の流れの調整や重なるところがないように話し合う

# 肝臓病教室のお知らせ



【日時】平成25年3月15日（金）  
15:00～16:30（14:30～開場）  
【場所】病院5階・講堂

肝臓病に関して日頃多く寄せられる  
疑問・質問に対してお答えします!!



「しじみ」は  
肝臓に良いんですね？

強ミノ・ウルソなど  
この薬って  
一体何のため？

食事は何に気を付けたら  
いいですか？

などなど・・・

1. 肝硬変について・・・医師
2. 肝臓病Q&A・・・各専門職
3. バリバリダンス&音楽療法・・・理学療法士・音楽療法士



参加申込み用紙は◎番(第3内科)外来または10東病棟にあります！

今回の目玉で興味を引く

イラストで堅苦しくなく

大きな流れをわかりやすく

# D（実行）

- 14時ごろから会場準備
- 教室内容によって座席を調整
- 集合まで待ち時間の間に音楽を流したり、前回の肝臓病教室の写真などをスライドで流したり和やかな雰囲気にする



# C 検証・A 改善

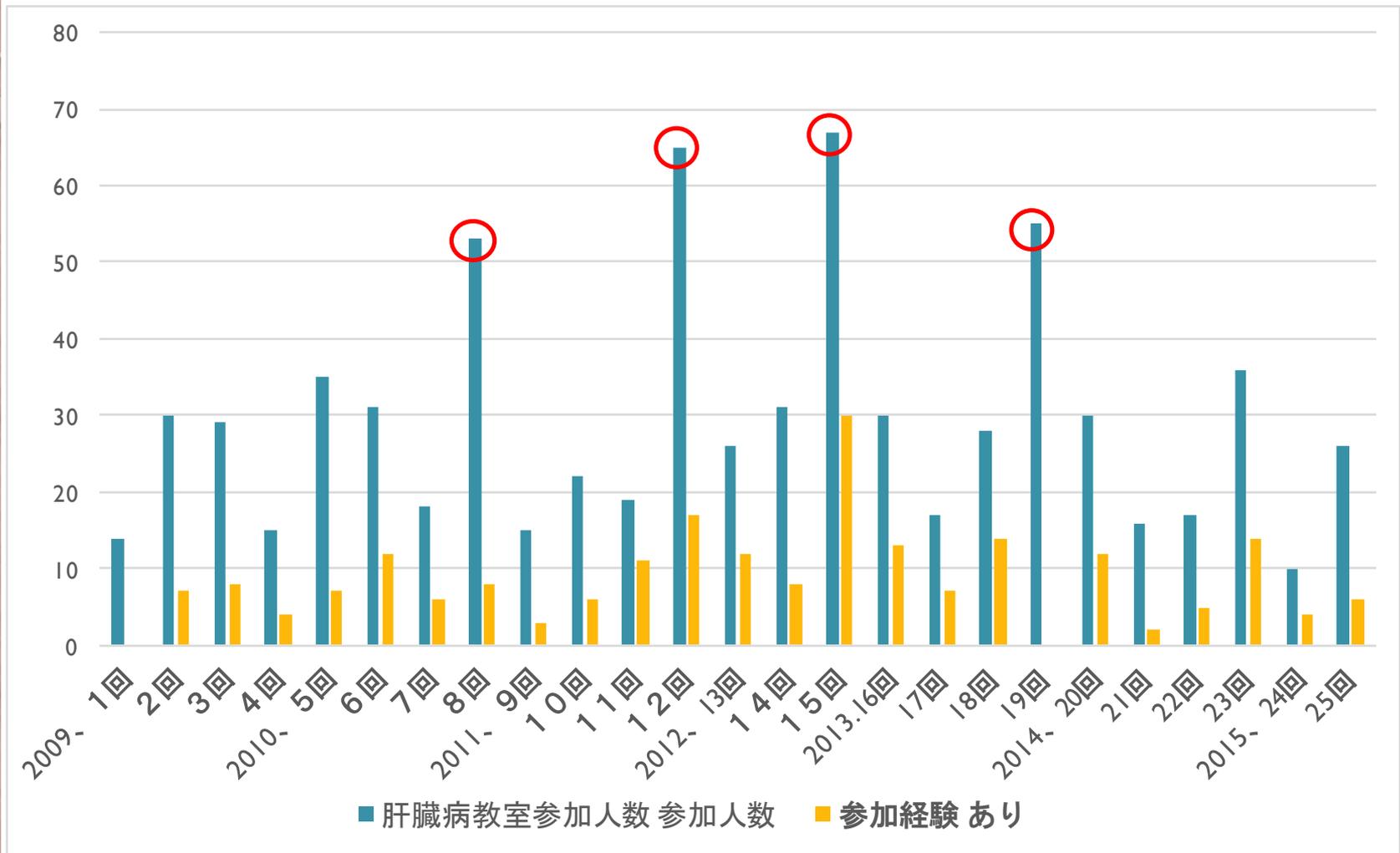
- 肝臓病教室後のアンケート結果  
参加人数  
参加のきっかけ  
内容の感想 など
- 反省会で分析、改善策の検討を行う



# アンケートの内容

- 年齢、性別、
- 教室への参加経験
- 教室を知ったきっかけ
- 内容はわかりやすかったか
- 参考になったのはどの内容か
- 所要時間は適当か
- 次回も参加したいか
- 今後取り上げてほしいテーマは何か

# 肝臓病教室参加人数



# なめたら・あ肝臓NEWS!

No. 17

平成27年6月19日(金)肝臓病教室を開催しました☆  
 今回のテーマは**ウイルス性慢性肝炎**でした  
 最新の薬と食事療法のコツについての講義がありました

**肝胆腸内科  
川村医師より**



川村医師からは慢性肝炎とはどのような病気であるか最新の薬の効果・副作用についてお話をしました

**播磨管理栄養士より**



食事の基本は栄養のバランスです。毎食、主食・主菜・副菜を揃え、栄養が偏らないようにしましょう。

(朝・昼・夕の食事でしっかり!)

- 主食★ごはん、パン、麺類などの穀物
- 主菜★肉・魚・大豆などを使った料理
- 副菜★野菜などを使った料理
- (フルーツもついで)
- 牛乳・乳飲料・ヨーグルトなどとりましょう

☆患者支援担当小畑医師より☆

**上野医師より**



今回、C型肝炎ジェノタイプ2の新しいお薬ソバルボについてお話をしました。リバウンドを無視して服用しただけでは、非常に高価なお薬ですので管理に気を付けてください。



肝炎治療の医療費助成制度についてお話をしました。当院には医療相談窓口(病院1階工芸室窓口)がありますのでお気軽にご相談ください。

**告知**  
 8月1日(土) 午後～  
 阿倍野ハルカスZ1階 MedCityZ1  
 肝炎一歩の イベントを開催致します。  
 ご来場をお待ちしています!!

たくさんご参加頂きありがとうございました



教室の様子

講義内容の要約

スタッフの写真も盛り込んで

次回の紹介

# 本日の内容

- 肝臓病教室立ち上げまでの過程
- 肝臓病教室の運営
- **新たな取り組み**  
**肝炎デー開催の経緯と実際**
- 看護師の役割
- 今後の課題

# 肝臓病教室における問題点

- 参加人数の減少
- スタッフの準備への負担
- 教室内容のマンネリ化

元々、肝臓病教室は院内の患者とその家族のみを対象にしていた



スタッフのモチベーションの低下

何か新たな取り組みで達成感を持ってないか？

# 肝炎デー参加の経緯①

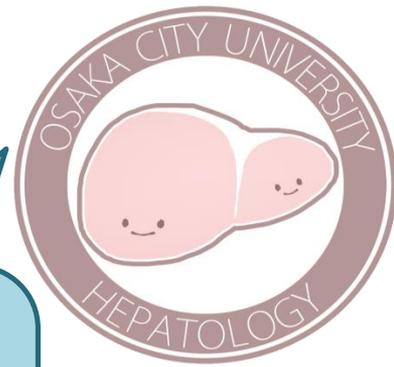
肝炎デーとは？



? 世界保健機関（WHO）は、2010年より毎年7月28日を**世界肝炎デー**と定め、ウイルス性肝炎（B型肝炎・C型肝炎）のまん延防止および患者・感染者への差別・偏見の解消、感染予防の推進を図ることを目的とした啓発活動の実施を行っている。

日本でも2012年**7月28日**を「**第1回日本肝炎デー**」と制定し、世界肝炎連盟が展開する世界肝炎デーの活動に参加している。

# 肝炎デー参加の経緯②



8月1日に病棟を挙げて  
肝炎イベントを行おう！

今回の参加を  
受けて、当病  
院・肝胆膵内  
科のマスコッ  
トキャラク  
ターが誕生☆

- 医師 3名
- 看護師 8名
- 薬剤師 1名
- 栄養士 2名
- 理学療法士 1名
- 事務 1名

実際の準備期間  
は6月～7月の  
2か月間!!

月2～3回、2時間  
程度の会議を行い、  
多職種と連携をとり  
入念に準備。

# おおさか I LOVE 肝ペーン

第1部市民講座（一般財団法人日本肝臓病対策支援財団/ブリストル・マイヤーズ共催）

石田純一さん、  
オール巨人さん、  
当院河田教授が対談する  
様子です

世界肝炎day/日本肝炎day  
市民公開講座

## おおさか I LOVE 肝ペーン (iLiver Campaign OSAKA)

～C型肝炎についてもっと知ろう！～

300名様  
無料ご招待

「沈黙の臓器」肝臓の働きや病気についてあなたは知っていますか？症状がないため、ついつい軽視されがちな肝臓病ですが、実はケアがとても大切です。最近では飲み薬でC型肝炎が治療できるようになってきました。今回のイベントは、あなたに肝臓とC型肝炎についてわかりやすく知っていただくために開催致します。多数のご来場をお待ちしております。

日時 2015年8月1日(土)  
13:30～14:45 (開場 13:00)

会場 あべのハルカス 25階 カンファレンスルーム  
〒545-6016 大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43  
TEL:06-4399-9077(あべのハルカス貸会議室運営事務局)

市民公開講座終了後  
もっと聞きたい、  
もっと知りたい方は  
Osaka Liver Festaへ!  
会場: MedCity21  
(あべのハルカス21階)  
楽しい体験コーナーもあります!

### ここまで進んだ肝炎の最新医学

スペシャル  
サポーター 石田 純一 さん



大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学  
教授 河田 則文 先生



講師1 **「C型肝炎とはどんな病気?  
新しい治療法で治そう!」**

オール巨人 さん  
講師2 **「早う治したらええで。  
人生、健康だからこそ楽し!」**



パネル トークとQ&A

共催：一般財団法人日本肝臓病対策支援財団/ブリストル・マイヤーズ株式会社

様々な思いの中、来客して頂いたすべての方に検診の大切さや、肝炎治療についてのことを知ってもらうことができました。



河田教授の言葉には説得力があって検診の大切さが良くわかった

オール巨人さん夫婦の肝炎治療体験談を面白く、わかりやすく話してくれた

カッコいい石田純一さんに言われれば検査を受けないと!!!という気持ちになった



# Osaka Liver Festaの準備過程①

- まず初めに、スタッフ全員がどのような催しを行うのか、意見を出し合って催し自体の内容決定を行った。そこで、大まかに4つのブースに分けて行うこととなった。
- 各ブースの内容として決定したのは・・・

## エコー 体験ブース

医師を中心に肝硬度の測定や来場者主体の模型を使ったエコー体験を行う

## C型肝炎治療 ブース

医師・薬剤師を中心に肝炎治療について、事務を中心に助成制度についての説明を行う

## 食事 ブース

管理栄養士を中心に栄養評価の機械を使用し、普段の食生活について個人に合った説明を行う

## 運動 ブース

理学療法士を中心に青竹を用いた運動などを行う

多職種のリーダーを中心とし各ブースを作っていく事となった

各ブースの中でも様々な分野に分けて多職種が活躍!!!

# Osaka Liver Festaの準備過程②

## ～看護師の役割～

**Osaka Liver Festa**  
 ～なめたらあ・肝臓！～  
**8月1日(土)14時～15時**  
 会場：あべのハルカス21階  
 MedCity21  
 地下鉄天王寺駅、JR 天王寺駅、  
 近鉄大阪阿部野橋駅直結

参加お待ちしております！

大阪市立大学医学部附属病院  
 肝胆脾内科  
 部長 河田則文

**★エコー体験★**  
 (先着15名様)  
 あなたの肝臓  
 硬くないですか？  
**ただいま測定中！！**  
 触れて、診て♪  
 エコー検査体験！

**★C型肝炎治療の最前線★**  
 どこまで知っていますか？  
 知って得する最新治療法、  
 新薬、肝炎助成について詳しく  
 説明します  
 治療を開始する前に  
 知っておきたい情報が  
 満載です！

**★管理栄養士★**  
 肝臓によいといわれる食  
 品はたくさんありますが、  
 基本はバランスのよい食事  
 です。  
 皆さんも一緒に普段  
 の食事内容を振り返って  
 みませんか？

**★運動タイム★**  
 メタボ予防、ロコモ予防に  
 リフレッシュ。  
 運動の効果はさまざまです！  
**みんなで楽しく  
 体を動かしましょう！**  
 理学療法士による  
 アドバイスがあるかも...

あべのんも  
 来るよ！

毎年7月28日は  
**世界/日本  
 肝炎デー**

主催：大阪市立大学医学部附属病院（肝胆脾内科）

- ・それぞれのブースでの多職種の進行状況を常に把握
- ・ポスター作成
- ・当日の掲示物作成
- ・肝炎Q & Aの資料作成 など

まず、話し合いの中心は肝炎デーの催しに関するネーミングの決定とポスターに関することを決めた。ポスターは大急ぎで作成。

どのような情報を掲載すると、行こうと思ってもらえるか試行錯誤しながら作成！

肝炎デーのテーマカラーが青のため、全て青で統一！

著作権の問題でキャラクターが使用できなくなったり・・・と問題もあったが、7月初旬に無事完成！

# Osaka Liver Festaの準備過程③

## ～困った点～

- 初めての開催で当日のイメージがつかず何をしなければいけないか明確でなかった。



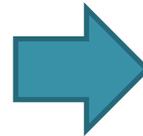
何度も打ち合わせを行い、意見交換を行った。

- 多職種での開催であったため、情報伝達が有効にできなかった。窓口がはっきりしなかった。



それぞれのリーダーを決め、その人に確認すると分かる様に配慮したが、情報の共有は困難だった

- 開催場所が院外であり、当日の準備のイメージがつかなかった。



何度も会場へ足を運び、確認を行った

- リハーサル等の準備ができなかった。



みんなのイメージトレーニングができるように資料作成を行った

- 短期間で時間がなく困った。



開催より逆算してタイムスケジュールを立てた  
なにより力を合わせて頑張った

# 当日の参加スタッフ数

- 医師 20名（学生5名）
- 看護師 9名
- 薬剤師 1名
- 栄養士 2名（学生数名）
- 理学療法士 2名
- 肝炎センタースタッフ 2名
- 事務関係 1名
- MedCityスタッフ 約20名

総勢約70名以上の  
スタッフが参加

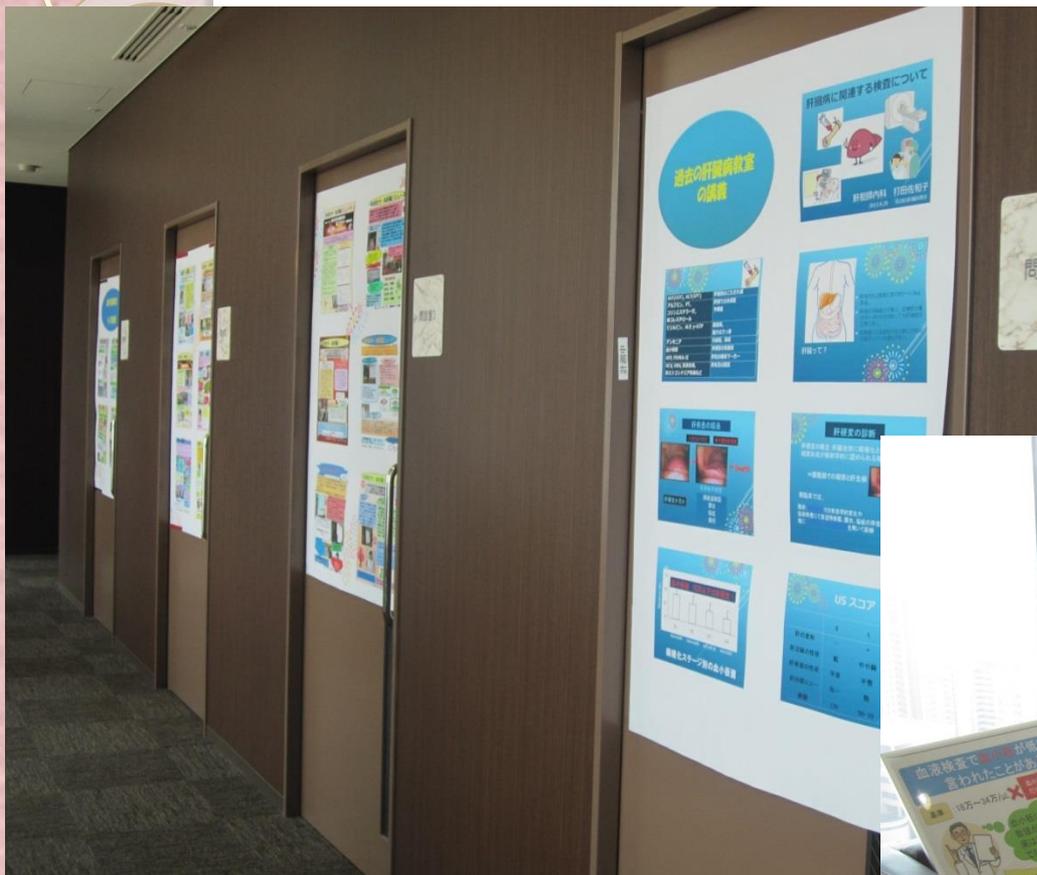
## 当日参加 スタッフの感想

肝炎のお祭りに参加できて楽しかった。良い経験となった。

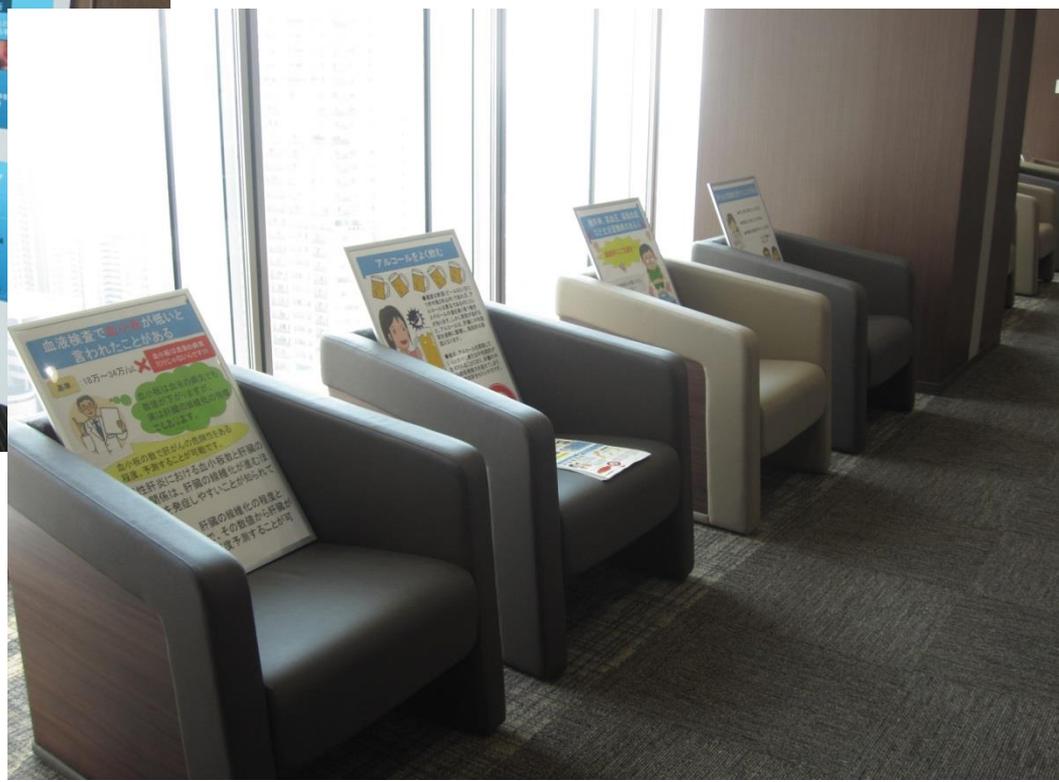
準備段階で把握していた以上に当日MedCityより多くのスタッフの協力があり、Tシャツが足りなくなるといった事態に！



# 肝臓病教室の紹介



## 肝炎Q&Aポスター

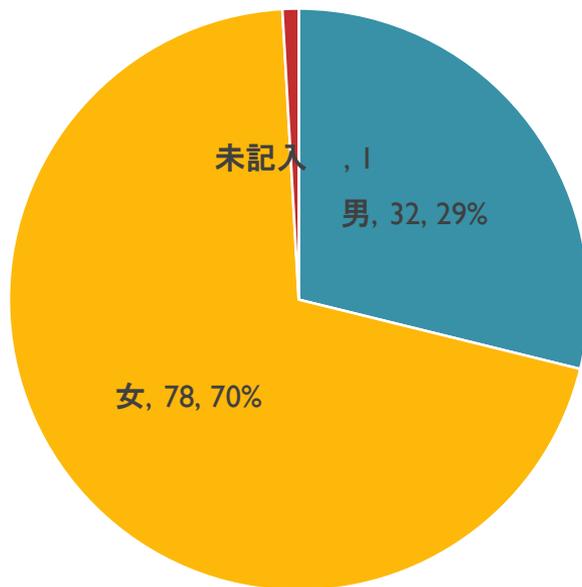


# 参加者統計

入場者数 186名

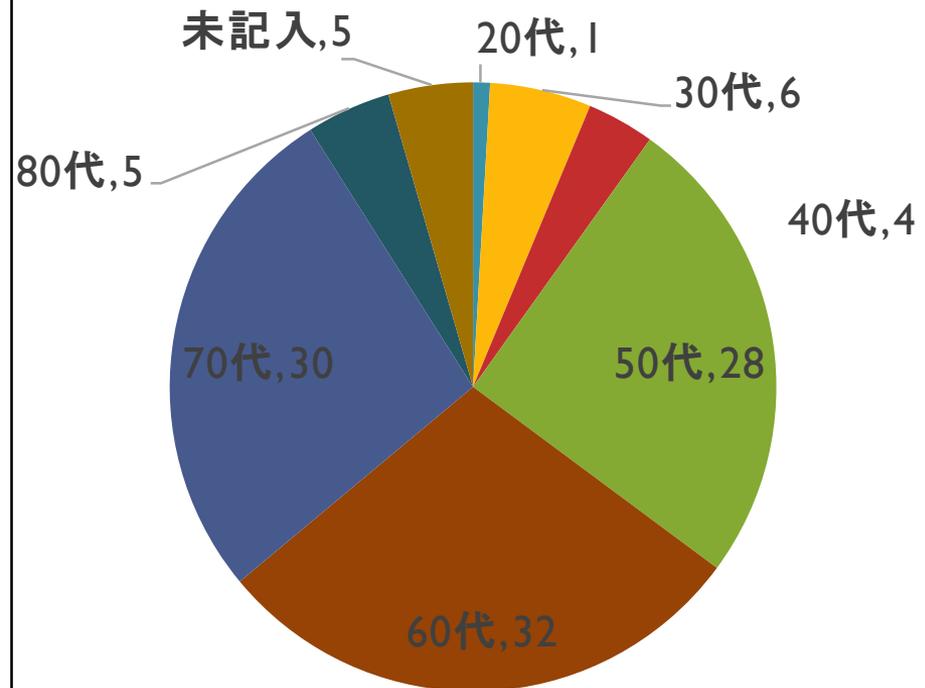
アンケート回収 111枚（回収率約60%）

男女比（n=111）



■ 男 ■ 女 ■ 未記入

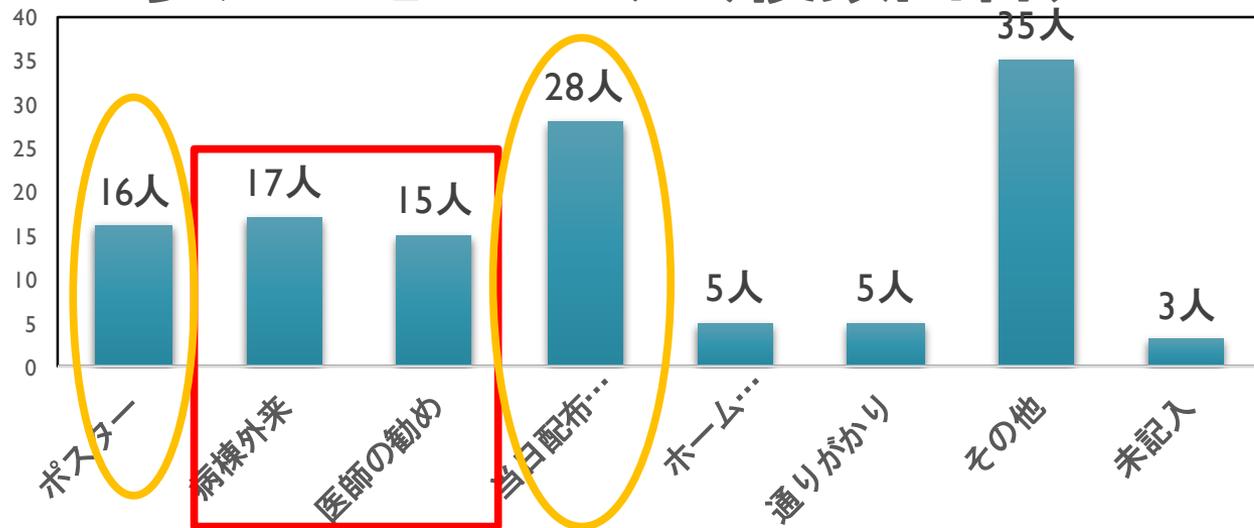
年齢（n=111）



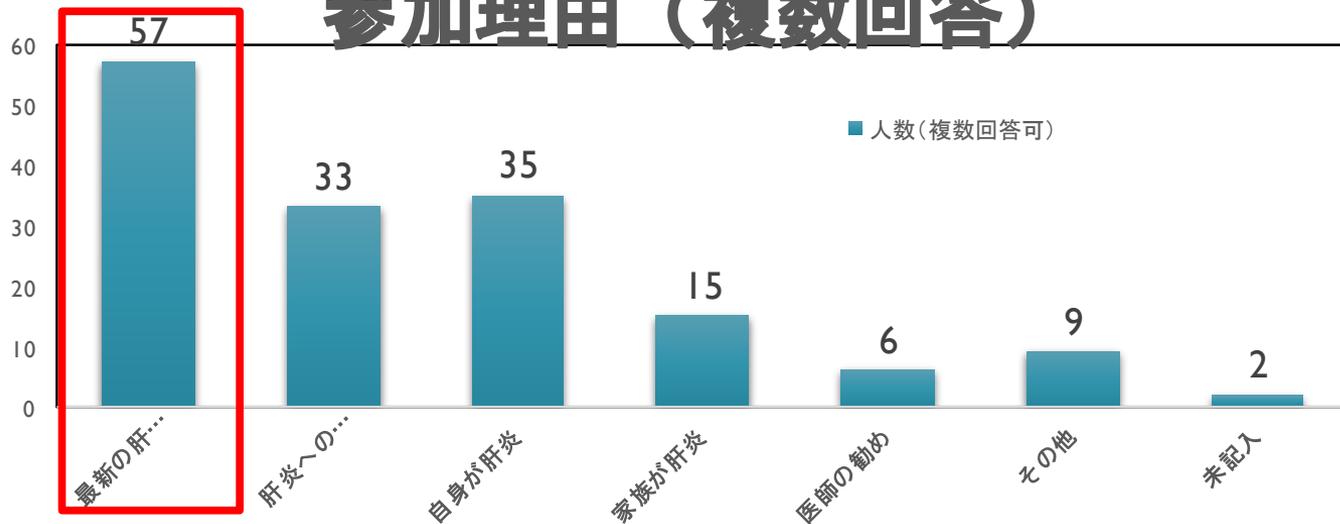
■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代 ■ 未記入

# 参加者アンケート結果

## 参加のきっかけ（複数回答）



## 参加理由（複数回答）



# 参加者の声

- 肝炎が重大な病気であることを自覚しないといけな  
いと思った。
- 直接先生に話が聞けて良かった。
- 病院ではしにくい質問もできて嬉しかった。
- 楽しいイベントで今後このような機会があれば参加  
したい。
- 自分も肝機能が悪いから、何が原因なのか検査を  
受けたい。
- 初めて知ることが多かった。

# スタッフの声

- 患者向けアンケートの満足度が高く、今後のモチベーションアップにつながった。
- 多職種と協力しながら楽しく準備から当日までむかえることができた。
- 多くの方に参加していただけて準備を頑張った甲斐があった。
- 集客の難しさを感じた。
- 準備期間が短くて苦労した。
- すべてが初めてのことでイメージが難しく、当日始まってから物品などの準備不足に気づくことも少なくなかった。

# なめたら、あ、肝臓NEWS

～Osaka Liver Festaを終えて～ No.18

世界保健機関（WHO）は、2010年より毎年7月28日を**世界肝炎デー**と定め、ウイルス性肝炎（B型肝炎・C型肝炎）のまん延防止および患者・感染者への差別・偏見の解消、感染予防の推進を図ることを目的とした啓発活動の実施を行っています。  
日本でも2012年7月28日を「第1回日本肝炎デー」と制定し世界肝炎連盟が展開する世界肝炎デーの活動に参加しています。

当院も、いざ参加！  
あべのハルカスで  
8月1日に肝炎  
のイベントを  
開催致しました。



たくさん  
来てくれたよ！

## 肝炎治療薬



薬剤師が、肝炎に有効な最新のお薬の紹介や薬剤サンプルを使用した説明に、熱心に耳を傾けて頂きました。

## C型肝炎治療の変遷



医師により今までのC型肝炎の治療方法・最新の治療についての説明に対して、フローからの質問もあり、日頃の疑問も解決して頂くことが出来ました。

## 助成制度



現在の肝炎助成制度について多くの方に知って頂けるように資料を作成しました。具体的な質問などを頂き、助成について情報を公開できる場となりました

参加者186名！

## 栄養



家での食事メニューをフードモデルで組み合わせ、測定器（SAT）に乗せて栄養バランス等についての体験をして頂き、それを栄養士が詳しくアドバイスしました。

## 肝硬度測定



肝臓の硬さを測る特殊なFibro Scanという医療機器を使用し実際に体験して頂き、測定結果を医師から説明をしました。  
大人気のコーナーでした。

## 運動



理学療法士より青竹を使った運動です。たくさんの方に参加して頂きました。青竹を使った運動以外にも筋力増強のための運動方法のレクチャーも行いました。

ご参加いただきありがとうございました！



次回 肝臓病教室は2月26日（金）です！ 詳細は後日お知らせ致します！

# 本日の内容

- 肝臓病教室立ち上げまでの過程
- 肝臓病教室の運営
- 新たな取り組み
  - 肝炎デー開催の経緯と実際
- **看護師の役割**
- 今後の課題

# 肝臓病教室での看護師の役割と活動内容

大講義室の年間の手配、打ち合わせ、反省会などコメディカルの調整、会議の司会・進行、案内ポスターの掲示

師長

アドバイザー

タイムスケジュールなどの管理

主任

副主任

リーダー・司会進行、案内ポスター・「なめたら・あ肝臓」新聞の発行・掲示、講義、コメディカルとの協力、調整

スタッフ  
(4人程度)

スタッフ

スタッフ

スタッフ

# H27年度肝臓病教室役割分担

役割担当(○はリーダー)	メンバー	内容	アドバイザー	
6月19日 (金)	○N(6年目)	Y(9年目) Y(4年目) K(3年目) F(4年目) T(2年目)	肝炎の最新治療 食事療法 肝炎助成	主任
9月18日 (金) 中止	○H(8年目)	N(4年目) N(3年目) O(3年目) K(4年目) K(2年目)	ウイルス性肝炎の治療? 8月肝炎デー開催に振り替え	副主任
2月26日 (金)	○K(4年目)	H(25年目) O(6年目) N(3年目) M(4年目) U(4年目) M(2年目)	NASH?	主任

# コーディネーターとしての役割

## ①師長

### 教室開催前

- 開催場所の確保
- コメディカルとの連絡調整
- 勤務表調整
- 打ち合わせ、リハーサルの日程調整
- 案内ポスター・申込用紙の印刷、掲示
- 他部門への広報

### 教室開催時

- 会場設営準備
- 会場でのファシリテーター

### 教室開催後

- アンケート集計
- 反省会招集、司会
- 「なめたら・あ肝臓！ニュース」掲示

# コーディネーターとしての役割

## ②病棟看護師

### 教室開催前

- 入院患者の声を聴き、患者が求めている情報を察知する
- 打ち合わせでの意見交換
- 案内ポスター・申込用紙の作成
- リハーサルでの最終調整

### 教室開催時

- 会場設営準備
- 参加者案内、受付
- 司会、進行

### 教室開催後

- 参加者の声を直接聴く
- 反省会での意見交換
- 「なめたら・あ肝臓！ニュース」作成

# 本日の内容

- 肝臓病教室立ち上げまでの過程
- 肝臓病教室の運営
- 新たな取り組み
  - 肝炎デー開催の経緯と実際
- 看護師の役割
- 今後の課題

# 肝臓病教室を継続して見えてきた 利点と問題点

## 利点

- 他職種との連携が深まる（教室以外でも相談しやすい）
- 疾患への理解が深まる
- プレゼンテーションのスキルの獲得
- 患者からの信頼が得られる

## 問題点

- 打ち合わせや資料の準備に時間がかかる（勤務時間外になる）
- モチベーションの維持が難しい（やらされ感が先行する）
- スタッフの入れ替わりや、若いスタッフが多く、教室経験者が少ない

# 肝臓病教室を継続していくために

## 時代にあった情報の提供

正しい情報

新しい情報

- ・最新の治療
- ・肝炎助成

セルフケア能力を高める情報

## 集客のための広報

病院内での  
アピール

- ・他部門への  
周知

病院外への  
アピール

- ・案内表の配布
- ・市民講座等での講演

## モチベーションの維持

人材活用

- ・得意なことを  
任せる

人材を育てる

- ・2番手を  
育成する

勤務表調整

- ・時間内での  
作業

## 他職種との連携

良好なコミュニケーション

柔軟な  
協力体制

参加者の反応の共有

# これからの課題

- ウイルス性肝炎が治せる時代になったことで、受診している患者だけでなく、未治療者への正しい情報の提供
- 知識だけの情報でなく、生活に取り入れることができる情報の提供（アドヒアランスを高められる情報）
- 個別の質問、悩みに答えられる十分な時間の確保
- 患者サロン等、患者同士が触れ合える場の提供
- 教室開催後の客観的な評価方法の検討

# まとめ

- 肝臓病教室の立ち上げ、運営の継続には、多職種の協力が必要であり、そのためには風通しの良いコミュニケーションが大切である
- 肝臓病教室の運営において、看護師はコーディネーターとしての重要な役割を担う
- 状況の変化に合わせて、患者のニーズだけでなく、医療者のニーズも拾い上げることで、医療者のモチベーションを維持していく事が大切である